

がん化学療法個人計画書

患者の状態により輸液の内容・量及び投与速度を変更する場合があります。

科名	適応がん種	レジメン名
	再発又は難治性のDLBCL	R-ベンダムスチン(120mg/m ²)
投与予定	休薬を含めて1クール 21 日 最大 6 クール施行	

Rp	薬品名	申請投与量	計算量	実際の投与量	手技・用法	投与時間	投与日 (day-)		
							0	1	2
1	生食	50ml			点滴静注	5分	↓		
2	(リツキシマブ施行時) 生食 + <input type="checkbox"/> メチルプレドニゾン or <input type="checkbox"/> ヒドロコルチゾン	20ml 40mg 100mg			静注		↓		
3	生食★ リツキシマブ	100/500ml 375 mg/m ²	#REF! mg/body	mg/body ml	点滴静注	医師の指示通り	↓		
★2回目以降90分で投与する場合は生食 250ml規格で									
4	グラニセトロンバッグ デキサメタゾン	3mg/100ml 6.6mg			点滴静注	30分		↓	↓
★プライミングフラッシュ生食必要★									
5	ベンダムスチン 生食 250ml	120 mg/m ²	#REF! mg/body	mg/body ml	点滴静注	60分		↓	↓
実際に投与する生食量はベンダムスチン液量分を減量									
6	生食 ◎ベンダムスチンと同時投与	250ml			点滴静注	60分		↓	↓
7	生食	50ml			点滴静注	5分	↓		

Rp	薬品名	薬価最小组み合わせ	備考
3	リツキシマブ	内訳 100mg 0mg 500mg 0mg	1~4mg/mlに希釈調製使用する。 初回: 50mg/hで開始、30分毎に50mg/hずつup。最大400mg/h。 2回目以降: 下記のいずれかに該当する場合は、当該注入速度を選択することができる。 ・初回投与時に発現した副作用が軽微であった場合、100mg/hで開始可、30分毎に100mg/hずつup。最大400mg/h。 ・臨床上に重篤な心疾患がなく、初回投与時に発現した副作用が軽微であり、かつ投与前の末梢血リンパ球数が5,000/μL未満である場合、90分間で投与可※ ※総液量を250mlとし、最初の30分は100ml/h、以後の60分は200ml/hで点滴 生食はベンダムスチン液量分を250mlより減量すること。
5	ベンダムスチン		

併用内服薬	用量(1日量)	用法	投与期間
(リツキシマブ施行時) イブuproフェン	100mg	リツキシマブ施行 30分前	リツキシマブ 施行日
(リツキシマブ施行時) d-クロルフェニラミン	2mg	リツキシマブ施行 30分前	リツキシマブ 施行日
備考			

リツキシマブの投与日は変更になる可能性あり。別途ステロイドを使用している場合は、リツキシマブの前投薬のステロイドは使用しない場合あり。

ステロイドの用量・投与期間は患者の状態で変更する場合あり。